

2016年
4月中国四国農政局
広島支局

おおあさの自然にはぐくまれたこだわり卵 ～ふぁーむbuffo (ブッフォ) の平飼有精卵～

広島市から中国自動車道で約1時間、澄んだ空気ときれいな水に恵まれた中国山地の山間、北広島町岩戸に「ふぁーむbuffo (ブッフォ)」があります。

「buffo」とはイタリア語で楽しいという意味で、「農場のお気楽なスタッフの総称です。鶏の番をする犬や餌の見張りをする猫、除草役のヤギなど農場には穏やかな時間を共有する仲間がいます。」とオーナーの岩崎さんが教えてくれました。

そんな農場が販売する有精卵には、岩崎さんの強いこだわりがあります。卵肉兼用種のブラックワン約300羽を、70羽毎に金網張りの解放鶏舎で自由に運動させる平飼という方法で雄と雌と一緒に飼育しています。また、餌は遺伝子組み換え、残留農薬の心配のある輸入トウモロコシの代わりに、国内産の米ぬかやくず米、大豆などを中心に緑餌（生の草や野菜くず）を混ぜて与えています。そのため、草の多い夏はやさしい黄色に、草の少ない冬は白っぽく季節ごとに黄身の色が変化するそうです。

輸入飼料に頼らず地元の土から出来た飼料を使い鶏糞を土に戻す、循環型畜産は環境への配慮とともに人と人の輪も広げてくれます。

現在、岩崎さんは、友人とともに同町内にカフェの開店準備をしているとのことで、そこでは、卵や鶏肉を使った料理を提供するほか、農業体験や動物とのふれあいの場にしたいと、将来の夢を熱く語っていました。



平飼で飼育する「ブラックワン」

【問い合わせ先】

ふぁーむbuffo 岩崎 奈穂
広島県北広島町岩戸1336-1
HP <http://buffo.oasa.jp>
ブログ <http://buffo.exblog.jp>
FB <https://www.facebook.com/farmbuffo>



ふぁーむbuffo (ブッフォ) の全景



ふぁーむbuffo こだわりの有精卵

「六次産業化・地産地消費」に基づく認定証を交付 ～自社栽培の大葉を使った商品開発（株）出来商店～

（株）出来商店では、中国四国地方最大規模の大葉の生産施設を有し、年間約18トンの大葉を市場への出荷と一次加工品のインターネット販売等に取り組んでいます。

大葉は、時期による需要変動が大きく、価格相場も季節に左右されやすい上に、加えて選別作業の経費が大きく、所得が伸びない状況が続いていましたが、大葉を利用して付加価値のある「大葉味噌」「大葉ドレッシング」「大葉石鹸」「大葉茶」「大葉ときゅうりのキムチ」の5商品を開発・製造し、中国四国地域のチェーンストア等との提携により販路の拡大を行っていくこととしています。

出来社長は、安心して安全な野菜を安定的に提供することが使命だと考えており、農産物の生産と地域の雇用の拡大をはかり、輸出も視野に入れ収益の向上を目指すことにより、認定された事業の目標達成に向けて全力で取り組む。と抱負を述べられました。



認定証交付の様子



認定を喜ぶ出来社長

（株）出来商店 <http://www.deki.co.jp/>

地方参事官室ホットラインのお知らせ

農林水産省では、全国の支局に、農政を伝え、現場の声を汲み上げ、ともに解決する地方参事官を配置しています。

農業者・消費者・行政関係者の皆様からの、農政に関するご相談、事業や制度へのご質問などを受け付けています。

広島支局地方参事官ホットライン 電話番号 082-228-9676

メールでのお問い合わせはこちら

<https://www.contact.maff.go.jp/chushi/form/c58a.html>

編集：中国四国農政局

広島支局 〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30 TEL (082)228-5840 FAX(082)228-5817
広島合同庁舎2号館6階

福山駐在所 〒720-0017 福山市千田町2-5-30 TEL (084)955-1951 FAX(084)955-1953
<農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆各種メールマガジンを配信中（登録はこちらから） <http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>